
猶予まであと15センチ

いしんいしんいしん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猶予まであと15センチ

【コード】

N5318P

【作者名】

ぶんぶんぶん

【あらすじ】

君は泣き顔も可愛いのだね。

おやおやおや、どういう状況なのだろうね。

猶予はあと15センチだよ。お子様向けの定規一本分の長さしかないよ。

ああでも自分は三角定規派だからもうちょっと余裕があるのか？

そんなこと考えている場面ではないよ。

何だこのシチュエーションは。

自分の低い鼻の前には今にも迫ってくる顔があるのだよ。

その顔は整った眉毛に長いまつげ、少したれ目がかわいいと皆さまから評判らしい御尊顔があるのだよ。

ああその高い鼻梁は私に対する当てつけかな？

だからこんなに鼻と鼻を近づけてくるのだね。きつとそうに違いはない。失敬だね。

ああしまったもう猶予は10センチかな？

自分は近眼なのだよ。そしてメガネは今修理中なのだよ。

20センチ遠くのものの色がわかるくらいなのさ。

だからあの子のことは声と髪の色で区別がつくくらいなのさ。

お願いだよ口を開いておくれ、じゃなきゃ本当に目の前のこの子があの子なのか自信が持てないじゃないか。

ああでも今耳のあたりに落ちてきたこげ茶色の髪の毛はあの子の色に、肌触りに近い気がするよ。

ああまずいよまただよもう残り5センチになっていたみたいだよ。

これは突き飛ばすべきなのかな、でもこの子の後ろは本棚なんだ。

自分は自慢じゃないが力が強いのだよ、あの子にも腕相撲で七勝一

敗一引き分けなくらいさ。いつか笑ってあの子に背中をたたきつつ挨拶したら、咳き込んでしまったのだよ。あの子は確か涙目だった。それに今はなんだかうまく手加減できる気がしないよ。あの子が本棚に倒れこたらきつと痛いよ、また泣きそうになるかもしれない。また自分は委員長から鬼畜な先輩といわれるかもしれないじゃないか。

おや、なんだか鼻をすする音がするのだよ。

それにそこはさつきまで自分が整理していた棚じゃあないか、大変だったのだよ、囲碁や将棋なんて皆興味がないからね、ずっと放置されてたのさ。分類もばらばらだったから、囲碁部の部長にわざわざ来てもらって並べていたのさ。彼も貴重な本があることに喜んで二人で四苦八苦してたのさ。先ほど終わったと期には思わず手を握り合ってお互いの努力をたたえたものだよ。

そんな二人の努力の結晶を無にできるだろうかいやできないよ、だから突き飛ばすのはなしなのだよ。

気のせいかな、なんだか握られている手に水滴が落ちてきてる気がするよ。

ああまたじゃないか、ついつい考え込んでしまったよ。それに口にも出ていたかもしれないね、妹は私の独り言の癖を気にしていたから。直す気はあるのだけど無意識だよあきらめるのが一番さ。

おや、いつの間にかこの子の顔が離れているよ、顔は相変わらず整っているのに、そんなに泣いてちゃかわいい顔が台無しになるんじゃないか。

おお、口に出ていたみたいだ、もっと泣き出してしまった、でも君の涙目はかわいいぞ、自信を持ってよ少年。

む？その涙目で確信したのだよ。この子はやはりあの子であるのだよ、涙をこらえようととして失敗しつつ私を見下ろすその様子はあの時にそっくりだからな。

さあさあこのティッシュで涙を拭きたまえ、泣いた顔も可愛いが君は笑うときつともつとかわいいからな。

泣いた理由は聞かないさ、男の子だものな、いろいろあるんだろう？泣きやんだら一緒にお菓子を食べようか、委員長が今日食べるようにとくれたものがあるんだ。

激辛らしいぞ、君もとても好きだから一緒に食べなさい、とのことだ。

うれしいぞ、なかなか同好の士に会えなくてな。

うん？また泣きそうだな。どうしたのだ少年よ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5318p/>

猶予まであと15センチ

2010年12月25日19時47分発行